

令和5年11月20日

お知らせ

課名	自然環境課	畜産課
担当	藤原、小野	田原、黒岩
内線	3115、3116	3865、3869
直通	086-226-7309	086-226-7431

死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス 確定検査の結果（2例目）について【陽性】

令和5年11月13日に倉敷市船穂町水江で回収されたオナガガモ1羽について、国立研究開発法人国立環境研究所が実施した確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出されましたので、お知らせします。

1 これまでの経緯

- 11月13日
 - ・倉敷市船穂町水江において、オナガガモ1羽の死亡個体回収
 - ・岡山家畜保健衛生所において簡易検査を実施し、A型鳥インフルエンザウイルス陽性反応を確認
 - ・採取した試料を確定検査機関である国立環境研究所へ送付
 - ・環境省が回収場所から半径10km以内を野鳥監視重点区域に指定
 - ・県内全ての家きん農場に対して情報提供し、衛生管理の徹底を再度要請
- 11月14日
 - ・県による野鳥監視重点区域内の巡回監視を開始
- 11月20日
 - ・環境省が国立環境研究所の確定検査結果を県に通知

2 今後の対応方針

(1) 自然環境課

野鳥監視重点区域内における野鳥の巡回監視（大量死や異常の有無、渡り鳥飛来状況調査等）を継続します。

(2) 畜産課

引き続き、県内全ての家きん農場に対して情報を提供し、衛生管理の徹底を要請しています。